

ごはん・お米とわたし

★作文・図画コンクール★



笑味ちゃん
©みんなのよい食プロジェクト



課題 作文・図画 両部門共通

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、
お米・ごはん食に関する思い出や考えたことなどを
素直な気持ちで自由に表現して下さい。

「国消国産(こくしょうこくさん)」とは、
自分たちが食べる食材は、できるだけ
自分たちの国でつくるという考え方です。
詳しくは特設サイトからご覧いただけます。



学校取りまとめ 締め切り 8月29日(火)

学級担任の先生に提出してください。

応募・問い合わせ先 最寄りのJAまたはJA埼玉県中央会JA支援部へ
JA埼玉県中央会連絡先 TEL.048-829-3307

応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。特別支援学校の小学部・中学部に在籍する児童・生徒。

応募規格 (枚数・大きさ)

【作文部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)
- 2部 小学校4年生～6年生 (400字詰め原稿用紙3枚以内)
- 3部 中学校1年生～3年生 (400字詰め原稿用紙4枚以内)

【図画部門】

- 1部 小学校1年生～3年生 (B3判、もしくは四つ切りの市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。)
- 2部 小学校4年生～6年生
- 3部 中学校1年生～3年生

賞

内閣総理大臣賞	作文・図画部門各1名	計2名
文部科学大臣賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
農林水産大臣賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
全国農業協同組合中央会会長賞	各部門各部門ごとに1名	計6名
優秀賞	各部門各部門ごとに15名	計90名
学校奨励賞	内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣各賞受賞者所属校	計14校

※詳細はJA埼玉県中央会が発行する「実施要領集」をご覧ください。

主催：農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会／全国農業協同組合中央会
後援：文部科学省／農林水産省／子ども家庭庁(承認予定)／全国都道府県教育委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放送協会(NHK)／
全国連合小学校長会／全日本中学校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本PTA全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構
協賛：全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合連合会／農林中央金庫／全国厚生農業協同組合連合会／
(株)日本農業新聞／(一社)家の光協会／(一社)全国農協観光協会

耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

本コンクールは、みんなのよい食プロジェクトの一環として取り組んでいる事業です。過去の受賞作品は、JAグループHPからご覧いただけます。



「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、稲作など、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作農業全般についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することをつうじて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食の重要性を広く周知するために開催しています。

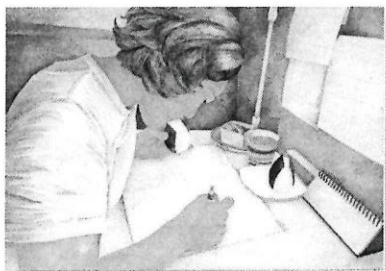


笑味ちゃん ©みんなのよい食プロジェクト

＜過去の受賞作品＞ JAグループHP(<https://life.ja-group.jp/education/contest/>)でもご覧いただけます。
※学年は受賞当時のものです。

図画部門

第44回内閣総理大臣賞



「おむすびは勉強のおとも」

静岡県長泉町立北中学校3年
清和 羽音さん

第46回内閣総理大臣賞



「水田の帰り道」

群馬県太田市立沢野小学校5年
吉江 小浜さん

第47回内閣総理大臣賞



「みんなで稲刈り」

佐賀県佐賀県立武雄青陵中学校3年
高森 薫さん

作文部門

第47回内閣総理大臣賞

私は、ごはんと同じくらい西洋のクラシック音楽が大好きです。いつも私のとりまには相棒のピアノがあつて、素敵な音楽に囲まれた生活をしています。豪華なオーケストラの演奏以外にも、私たちの周りには興味深い音楽があふれています。私は、ちよつとした好奇心から、お米作りと音楽の結び付きの可能性を探りたくまりました。私は、ゆつくりと目を閉じて、心を落ち着かせて、水田に耳をすませました。すると、静かな水田から四季折々の様々な音楽がきこえてきます。水田には、ときにはユニークで、ときには楽しく、そしてときには心をいやしてくれる、そんな多彩なオーケストラがひそんでいるようです。

私の家の目の前には、雄大な筑波山を背景にした水田が、一面に広がっています。普段は気に留めない水田の音でも、注意深くきくとリズムをとった連続的なせん律がきこえてきます。春の季節には、水田からは土をうるおす水のせせらぎがきこえてきます。すんだ水の流れる音は、心にうるおいを与え、どこか生命力を感じさせます。水田にセキレイが訪れると、チッチチツといったかわいらしいさえずりもきこえてきます。それは私の心を和ませてくれます。夏の季節には、水田から風にゆれる稲の音がきこえてきます。丈夫に育った稲の葉の間に緑風が吹いて、サラサラと優しい音を奏でます。それは、私をさわやかな気持ちにさせてくれます。また、星の夜の夜には、水田に生まれたカエルたちのケロケロ、クワクワツツといった大合唱がきこえてきます。声楽家のように堂々と歌うカエルたちの歌声は、自由ながらも同一のせん律をくり返して、まるで輪唱をしているようです。水田は夕立のときにも音を奏でます。大つぶの雨がザザザと稲の葉を打つ音は、恵みの雨を喜んで稲たちがさわぎ出しているようです。秋の季節には、黄金色の重そうな稲穂が大きくゆれるワサワサといった音がきこえてきます。鈴虫の鳴き声をアクセントにして幻想的な楽曲をアンサンブルしているようです。

しかし、冬の季節には、水田の稲はすっかり収穫され、水はなくなり、季節の小鳥たちも冬眠の時期をむかえます。ひっそりと静まり返った水田からは、木がらしが吹いたときのかわいた音だけがきこえてきます。それは、寒さを感じさせます。春の季節には、水田が再び目を覚まし、水田のオーケストラも、春の交きょう曲の演奏に備えて一休みです。きつと来春のコンサートに向けて、新しい楽曲の創作にいそんでいるのだと思います。

水田がおりなす音楽には、豪華なオーケストラとは違った音楽の美しさと楽しさが感じられます。それらは、四季折々の稲たちの気持ちを表現しているようです。きつと、こんな素敵な演奏ができるのは、豊かな自然環境が育んだオーケストラだからなのだと思います。

「水田のオーケストラ」
茨城県筑西市立古里小学校6年
戸頃 結さん

応募総数

第47回「ごはん・お米とわたし」
作文・図画コンクール

作文部門:33,246点 図画部門:44,411点

第48回「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール 全国審査会／表彰式日程

【全国審査会】 作文本審査会:2023年11月14日(火)
図画本審査会:2023年11月17日(金) 会場:JAビル(東京・大手町)

【表彰式】 日時:2024年1月6日(土) 14:00~15:15
会場:JA共済ビル カンファレンスホール(東京・永田町)



- ◎点線部分で切り取って使ってください。
- ◎必要事項を記入の上、作文は最後のページ裏面中央、図画は作品裏面中央に、下図のりしろ部分のみ貼り付け（のり付け）してください。
- ◎JA 名は、無記入でお願いします。（学校の担当者が記入します。）

のりしろ

のりしろ裏面を貼り付け面にしてください。

個人作品添付用応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
	11		作文・図画
作品の題名			
フリガナ			性別
氏名			男・女
フリガナ	サイタマシリツミヤマエショウ		学年
学校名	さいたま市立宮前小 学校		年 組
フリガナ	サイタマケンサイタマシニシクミヤマエチヨウ341バンチ		
学校所在地	埼玉県さいたま市西区宮前町341番地		
電話番号	048-623-8121		
当該JA名			